

靖國神社初詣

大東 信祐 陸自57

年末から冬の気圧配置が安定し、関東地方では今年の正月は好天に恵まれ、寒気は厳しいながら風も無く穏やかな元旦を迎えた。

除夜の鐘を御社頭で聞いて参拝することは家族から「年齢を考えて、無理をするな」と言われ、今年は家で屠蘇を祝い、日が高く上ってから参拝することとした。

土地の氏神様である八雲神社に参拝後に乗車した地下鉄は通勤時にはいつもは満員だが、元旦では楽に座席に着くことが出来た。地下鉄飯田橋駅から早稲田通りに出るとJRの駅舎が御茶ノ水方向に移転して、通りの右側には大きなビルが林立しており、この数年間の変化の早いことに驚かされる。

駅近くの東京大神宮は縁結びのパワースポットとして人気があるのとこのとで若いご婦人や二人連れが多く、参拝の待ち行列が早稲田通りを越えて続いている。

靖國神社の参道に入る前に靖國通りを隔てて神社御創建当時に建立された大燈籠がある。当時は東京湾からこの

燈籠の灯が見えたと言われるが、現在では神田、大手町、東京駅方向も林立するビル街であり、現在ではにわか信じ難いものがある。

かつて「日本一の大鳥居」と言われた第一鳥居をくぐり境内に入るとさすがに人の数が多い。駅附近の賑わいと比較するとやはり年配者が多いように感じられる。参道の右側は御創建150年記念事業の外苑整備のための工事中でフェンスが建って、例年のような露店はなく人出の割には境内が非常に静かである。

戦後70余年の歳月は戦友、未亡人の世代から遺児の世代、更にその子供の時代へと移っていることを考えればご参拝の方々も変化するのが当然であろう。

靖國神社は戦友会・遺族会が最大の支持基盤であるという時代は正に移りかわっているという事を改めて実感した。神社の姿も変わっていかなければならない。

午前の時間帯であったためか、男女とも和

服の人は極めて少ない。日本髪のご婦人は一人も眼に止まらなかつたのも時代の流れだろう。

手水に身を清め大風、大羽子板が飾られている神門を入ると、第三鳥居の手前まで参拝の人の列ができており、段階規制はされていなかったが拝殿に進むのに約15分を要した。帰路についたときはこの列は御神門の近くまで伸びていた。

鳥居脇の掲示板には、昭和20年3月



元旦早朝の神門

30日ソロモン群島ブーゲンビル島パイロンで戦死された船崎一義陸軍伍長(27歳)が母上に遺されたご遺書が掲示され、国を思う心、肉親に対する情愛を改めて感じさせられた。

拝殿脇には明治天皇御製

新年をいはふあしたはちはやふる
神代にかへるこちこそすれ

が掲げられ、歴史の重みを改めて感じる事が出来た。

靖國神社には国に殉じた246万6千余柱の御祭神が合祀されている。私の身内でも叔父、従兄弟が原爆で斃れ、祀られており、心からその御冥福を祈り、現在の平和の礎となった御霊に感謝の誠を捧げた。

昨年は米国大統領の広島への慰霊訪問、安部首相の年末の真珠湾への慰霊訪問で日米関係にわだかまっていた「しこり」が少しは寛解したように想われるが、現在の国際情勢は極東では何とか平和を保ちながら不安の種は尽きない状況にあり、中東情勢も不安定が続いている。陛下の「本年が人々ととり、穏やかに心豊かに過ごせる年となるように願っています」というお言葉を改めて噛み締めた。

左翼政党の機関誌では「靖國神社は『侵略戦争を美化する象徴』であり、ここを訪れるのは、過去の帝国主義を

礼賛するのが目的である」と言っているようであるが、これこそ左翼のイデオロギーによるレッテル貼りであり、「如何なる歴史観に立とうとも、如何なる敵味方であろうとも、祖国の為に命を捧げた方々に對し、感謝と敬意を表することはどの国でも理解して頂けると考えている」と云う安倍首相の言葉を軍国主義的であると評するマスコミの表現に疑問を持たないのがおかしいと感ずるのは私だけだろうか。

神社の内苑では干支の大絵馬が掲げられている他、華席では各流派による特別献花展、更に奉納銘酒のラベル展、全国神社の奉納絵馬展が、また、能楽堂では小笠原教場による新春弓始めさんざんくではさみしき「三三九手挟式」はじめ連日古武道、居合道、劍舞等の展示、仕舞、日本舞踊等の芸能が奉納されている。また、甘酒、神酒の振舞い、福引、獅子舞等の諸行事が行われている。この他に遊就館では新春刀劍展が行われており、参拝者に対する神社の心遣いを改めて感じさせられた。

帰路に参道の自動車横断道の傍らにある昭和初期に建立された石造りの大灯籠に立ち寄り側面に飾られているレリーフを改めて拝見した。右側の灯籠には海軍の、左側には陸軍の有名な戦闘のシーンが刻まれているが、現在の参拝者の如何ほどかがこのレリーフに

気づき、更にその内容を理解しているかと想うと心淋しいものがある。自国の歴史は大切にしたいものである。

年末に神社に参拝した稲田朋美防衛大臣は「今の平和な日本は祖国のために命を捧げられた方々の尊い命の積み重ねの上にある。未来志向に立ってしっかりと日本と世界の平和を築いていきたい」と語り、更に「忘恩の徒にはなりたくない」といった言葉を共有したいと改めて思った。

蛇足

神社の名称について

神様をお祭りしているお社は一般的には「神社」と呼ばれますが、その社号としては○○神宮、○○大社、○○宮、○○神社、等の呼び名があります。「神宮」…単に神宮という場合は伊勢神宮をさしています。神宮の名称は皇室の祖先神を祀っているお社に付けられます。熱田神宮、明治神宮等

「大社」…全国に多数ある同名の神社の宗社、全国から崇敬を集める格式の高、旧国弊大社、出雲大社、春日大社、住吉大社等

「宮」…皇室にかかわりのある神社、鎌倉宮、宮崎宮

代表的な例を挙げましたが例外も多くあります。